

会 議 事 録

1 会議名	第6回長岡市総合計画策定委員会
2 開催日時	令和8年1月22日（木曜日） 午後3時00分から午後5時00分まで
3 開催場所	長岡グランドホテル 2階 悠久の間
4 出席者名	<p>(策定委員)</p> <p>大原委員長 佐々木副委員長 広川副委員長 石坂委員 大島委員 勝身委員 ガーヴィー委員 草間委員 黒崎委員 駒野委員 近藤委員 坂田委員 佐野委員 高野委員 田中委員 中野委員 ヌルアデリン委員 樋口委員 山岸委員 山田修委員 山田光枝委員 渡辺委員</p> <p>(市議会議員)</p> <p>中村副議長 三澤議員 波多議員 高橋議員 二ツ家議員 長坂議員 衣川議員 笠井綾華議員 松野議員 神林議員 服部議員 五十嵐議員 山田議員 関充夫議員 桑原議員 松井議員 丸山勝総議員 笠井則雄議員</p> <p>(長岡市)</p> <p>野口理事（行財政改革担当） 長谷川産業政策監 谷畑理事（土木部長） 五十嵐地方創生推進部長 五十嵐ミライエ長岡担当部長 古田島女性活躍推進担当部長 植村 DX 推進部長 水内総務部長 大野財務部長 入澤危機管理監 山田原子力安全対策室長 大矢地域振興戦略部長 小池市民協働推進部長 水島福祉保健部長 佐山環境部長 西山商工部長 高野観光・交流部長 波形農林水産部長 太刀川都市整備部長 高頭中心市街地整備室長 新沢会計管理者 江田教育部長 金垣教育部参事 星野子ども未来部長 植木水道局長 近藤消防長 中村政策企画課長 上村政策企画課課長補佐 平野総合計画策定担当係長 相川政策企画担当係長 浅野主査</p>

	中村主任 宮崎主任
5 欠席者名	外山委員、西片委員、原委員
6 議題	1. 次期総合計画「計画案」について 2. 次期総合計画の進捗管理について
7 審議結果の概要	・ 長岡市総合計画計画案について、最終計画案として確定した
8 審議の内容	
地方創生推進部長	<p>本日は、お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>それでは、ただいまから、「第6回長岡市総合計画策定委員会」を開催いたします。</p> <p>私は事務局の地方創生推進部長の五十嵐でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>最終回となる今回は、市長へ答申する「最終計画案」の決定をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、市議会議員18名の皆様にご出席いただいております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、大原委員長からご挨拶をいただきます。</p>
委員長	<p>本日はお忙しい中ご出席を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>これまで5回にわたって総合計画策定委員会を実施し、委員の皆様からは次期総合計画案について活発にご議論いただきました。第一回策定委員会から1年4か月経過いたしました。委員の皆様からはご自身の知見・経験から忌憚のない貴重なご意見を賜り、計画案としてまとめることができました。皆様から多大なご協力をいただけたことに心から感謝申し上げます。市議会委員の皆様から貴重なご意見を賜り、市の各部局の皆様からも策定委員の意見に対して真摯にご回答いただいたことにより、非常に実効性のある良い計画にまとまったと考えております。最終回となる本日は計画案としてご確認いただき、市長に答申する最終計画案として確定したく存じます。</p>
地方創生推進部長	<p>大原委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからの議事につきましては、大原委員長にお願いしたいと思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>それでは、議事に入ります。 次期総合計画「計画案」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>地方創生推進 部長</p>	<p>それでは、次期総合計画「計画案」についてご説明させていただきます 11月7日開催の第5回策定委員会では、策定委員の皆様から貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございました。</p> <p>本日お諮りする資料1「計画案」につきましては、これまでの5回の策定委員会において、策定委員の皆様からご議論いただいた内容に加え、議員協議会などでの市議会議員の皆様からのご意見やパブリックコメントの市民意見を踏まえ、市の各分科会において改めて検討し、整理したものであります。</p> <p>前回の委員の皆様のご意見に関しましては、資料2、「第5回総合計画策定委員会での委員意見への対応について」をご覧ください。</p> <p>いただきましたご質問やご意見について、改めて各分科会において検討や見直しを行い、資料1の計画案に反映いたしました。</p> <p>なお、パブリックコメントにつきましては、11月21日から12月12日まで実施し、41人、112件と大変多くのご意見をいただきました。このうち、29件のご意見について、計画案へ反映いたしました。詳細は、資料3「パブリックコメント意見への対応について」をご覧くださいと思います。</p> <p>最終的な冊子のデザインやレイアウトは現在検討中ではありますが、計画の内容につきましては、これまでの議論やご意見を踏まえた最終形となっております。</p> <p>資料のボリュームが大変大きくなっておりますので、恐れ入りますが、原案からの変更点など、要点のご説明とさせていただきます。</p> <p>それでは資料1、「長岡市総合計画 計画案」をご覧ください。 まず、28ページをご覧ください。</p> <p>新たに「イノベーション先進都市に向けて」のページを追加いたしました。これは、前回の策定委員会において、複数の策定委員の皆様から、「計画案に記載のどの取組みも非常に重要ではあるが、その中でも計画期間で特に力を入れていく、イノベーションを推進していく箇所をわかりやすく強調して記載すべき」とのご意見を受け、新たに追加したものであります。</p> <p>計画に記載の全てがイノベーションであり、変革の取組みではありますが、中でもこれからの10年間で特にイノベーションに注力していく「施策の柱」を、基本目標ごとに抜き出して記載しております。また、「施策の柱」の各ページには、イノベーションのマークを表示しております。</p>

委員長	<p>次に、最終ページの165ページをご覧ください。「計画の推進にあたって」のページを新たに追加いたしました。</p> <p>これは、前回の策定委員会において、「計画を実効性のあるものにするため、どのようにPDCAを回していくのか、明確にしてほしい」というご意見をいただいたことを受けて、総合計画完成後の進捗管理の基本的な考え方についてまとめたものであります。</p> <p>総合計画の推進においては、政策評価に基づき、PDCAサイクルを記載の表のとおり1年サイクルで実施することとし、総合計画と予算を連動させながら、事業の見直しや改善を継続的に行うことといたします。</p> <p>総合指標、主要指標、施策の柱ごとの指標、これら全ての指標については、毎年度進捗状況を確認するとともに、施策の評価結果を外部有識者で構成する「地方創生推進会議」において評価いただき、成果や課題について、市議会をはじめ市民や事業者等と共有しながら進めていくことを考えております。</p> <p>次に、資料1別紙の「資料編」をご覧ください。</p> <p>これまでの策定経過や市民参加事業の概要、KPI一覧表についても資料編として整理いたしました。計画の本編同様、公表させていただく資料となりますので、併せてご確認いただきたいと思います。</p> <p>最後に今後のスケジュールについてご説明いたします。</p> <p>本日の会議で決定した「計画案」について、2月4日（水曜日）に策定委員会から市長への答申を予定しております。</p> <p>この「計画案」を基に、市議会の3月定例会においてお諮りし、議決をいただくことで策定となり、4月からはこの計画に沿ってオール長岡で行動していくこととなります。</p> <p>説明は以上です。よろしく願いいたします。</p> <p>説明が終わりました。</p> <p>それでは、計画案について質問やご意見のある方はご発言いただきたいと思います。</p> <p>今回は、基本目標ごとに質問をお受けせず、計画案全体について一括でご意見を伺いたいと思います。</p> <p>質問や意見の際は、はじめに「計画案」のどのページに記載の内容か、皆さんにわかるようにご発言くださるようお願いいたします。</p> <p>何かご意見はありませんでしょうか。</p>
-----	---

委員	<p>資料編の出典に「担当部署で把握」と記載されているものが多いですが、読み手にとってはどの事業がどの部署の担当かわかりにくいと思います。担当部署はどこを確認すれば良いのでしょうか。</p>
地方創生推進部長	<p>「担当部署で把握」という表記については明確に記載することによる不都合があるのかということを確認したうえで、記載方法を検討させていただきます。</p>
委員	<p>初めて読む方にとって、35ページのような「イノベーション」というマークが突然出てくると意味しているものがわかりにくいのではないのでしょうか。長岡市として力を入れる箇所についてはマークの説明があると読み手にとってわかりやすくなると思います。</p>
地方創生推進部長	<p>マークについて但し書きをするのか、28ページにマークの説明をする文章が必要だと思いましたが、事務局で対応いたします。</p>
委員	<p>パブリックコメントは41人から112件寄せられたとございますが、長岡市の人口を踏まえたうえで、パブリックコメントの人数・件数について長岡市としてどのように受け止めているのでしょうか。パブリックコメントの数は、市民の市政への関心度合いの指標だと考えているため、お伺いさせていただきました。</p>
地方創生推進部長	<p>平均値は把握しておりませんが、長岡市における他のパブリックコメントでは数件程度であり、それと比較すると総合計画におけるパブリックコメントの件数は多いと認識しています。細かく総合計画を読み込んでいただいたうえで具体的かつ建設的なコメントも複数いただいております。ありがたく感じています。ただ、長岡市の人口を鑑みると、パブリックコメントの数は少ないと考えており、満足することなく市民の声を聴きながら総合計画を見直して参ります。</p>
委員	<p>イノベーションの説明文を書く際に、これまで全くできていなかった新しいことという書き方ではなく、これまで取り組んでいたことの改善という書き方にしたほうが良いと思います。これまで長岡市が取り組んでいたことに対する疑念を生むことを防ぐためでございます。</p>

<p>地方創生推進 部長</p>	<p>説明文の記載において参考にさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>本計画案を拝見し、行政の皆様が限られた人員や財源の中で、丁寧に検討を進めてこられたことを感じました。私は本委員会において、人口減少や財源的制約を避けられない中で、限られた資源の中で最大の成果を生み出すという視点を計画に残したいという思いを持っておりました。今後、制約がさらに強まるなか、130ものKPIすべてを毎年度点検し、改善につなげる運用が現実的に可能かどうかを不安に思っております。長岡市の10年後のありたい姿に必要なのはシンプルなKPI、横断的な視点、市民を支えられる側から支える側に変えていくことだと認識しております。KPIを増やすことよりも、一つの取組が複合的な政策効果を生む構想を横断的に見える化することが「変わるれ長岡」や「イノベーション」を体現することだと思います。例えば、不登校対策、地域コミュニティ、DX、防災は繋げて設計するほど成果が大きくなる領域だと考えております。次期総合計画が実行と検証を通じて進化し続ける計画として運用されることを願っております。</p>
<p>地方創生推進 部長</p>	<p>総合計画の内容を実行していくことが重要であり、シンプルなKPI、横断的な視点、市民を支える側に変えていくことがないと、計画は絵に描いた餅になってしまいます。行政としては、市民の皆様が主体的に関わっていただくために、周知し、体制を組む必要があると思っており、実行と検証についても留意して進めていきたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、市長へ答申する「最終計画案」について、当委員会としての意見をまとめたいと思っております。</p> <p>本日いただきましたご意見を踏まえ、修正内容の反映については、委員長である私に一任していただき、本計画案を当委員会の最終案としてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員からの反対意見はなし)</p>
<p>委員長</p>	<p>計画案については本策定委員会で承認いただいたものとさせていただきます。この計画案をもって市長へ答申したいと思っております。</p> <p>本日予定していた議事は以上となります。</p> <p>委員長としての役割もこれで終了となります。これまで1年4か月間にわたり、皆さまから議事の進行にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。</p>

<p>地方創生推進 部長</p>	<p>それでは、進行を事務局にお返しします。</p> <p>大原委員長、ありがとうございました。</p> <p>最後に、計画案の市長への答申について、ご連絡いたします。</p> <p>答申は、2月4日（水曜日）午前10時からアオーレ長岡で予定しております。基本的には委員長、副委員長から市長への答申を行っていただくこととしていますが、これまでご尽力いただきました委員の皆様からのご都合がつかれば、ご同席いただきたいと思います。後ほど事務局からメールでご案内させていただきますので、ご出席いただける方はお聞かせください。</p> <p>それでは以上をもちまして第6回総合計画策定委員会を閉会いたします。</p> <p>これまで長期にわたり、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。これにて終了とさせていただきます。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>